

## 映画「砂の道の向こう」で伝えたいこと

柳田一郎

〒 890-0034 鹿児島市市上 5-16-34 環境カウンセラー・鹿児島県霧島国際音楽ホール

### ■ はじめに

平成 21 年度、指宿市の市民グループ「指宿ムービープロジェクト」の自主制作映画は、その前年夏に「知林ヶ島」を題材にあったシナリオコンテストで、優秀作品賞となった拙著「砂の道の向こう」を基にした映画である。

文系・法学部出身の私は、自然について知っていた方法としての文芸に関心がある。「ネイチャー・ライティング」とも言われ、自然観察会や講演会よりも広範囲の人々に、メッセージを届けられる方法と考える。

今回の映画は、今年元旦からの IT による映像公開、指宿市内、伊佐市、鹿児島市での 5 回の公式上映会、地域のミニ上映会により、既に概算 2 千人を超える人々が観覧された。また、(財)日本自然保護協会では、「もうひとつの自然保護活動」として、機関紙記事に取り上げていただいた。

観覧者は、国外にまでいらっしゃるという。

### ■ きっかけと三つの目的

私は、指宿地区のパーク(国立公園)ボランティアとして、知林ヶ島に見える国民休暇村周辺で長く活動している。12 年前の自然観察会の休憩の散歩の時、指宿市内の小学生の女の子が、「いつもおじいちゃんとお参りするお墓がある。あっちゃよ」と、休暇村の敷地内にある慰霊碑公園に連れて行ってくれた。私は、その場所で初めて、自然の中を過ぎた厳しい歴史を知り、いつかこのことを伝えたいと思った。

Yanagita, I. 2009. Implications of the film, "behind a sandy path". *Nature of Kagoshima* 36: 33-36.

✉ 5-16-34 Tagami, Kagoshima 890-0034, Japan (e-mail: i-ecol@po2.synapse.ne.jp; tel: 099-258-2710). URL: <http://www5.synapse.ne.jp/ecoiy/synapse-auto-page/>

(1) 霧島屋久国立公園・指宿地区の豊かな自然に目を向けて欲しい。...「知林ヶ島」と「砂の道」の存在を知っていただき、周りの美しい自然を守っていききたい。

(2) 指宿海軍航空隊の歴史を知って欲しい。...自然に比べ、ちっぽけな人間の歴史かもしれません。しかし、いつの時代にも、与えられた人生を懸命に生きた名も無き人々の歴史があります。昭和 20 年、海に浮かぶためのフロートをつけた水上偵察機による特攻隊が発進する日本本土最後の基地、それが魚見岳の麓にあったのです。当時としては世界有数の優秀な飛行機だったとは言え、戦闘能力の小さい偵察用水上飛行機まで使わなければならなかった時代の苦しみと悲しみ、そしてひたむきな人々の生き様を知っていただきたい。

(3) 命の大切さを考え、生き続けて欲しい。...現代は自殺が増えている。だからこそ、生きたくても生きることを許されない世代があったことを考えて欲しい。戦場で倒れた多くの人々のことも。現代はこの人々の献身と忍耐によって作りあげられたと思う。私達は、そのご苦勞に報い、命を大切に生き続けたい。

### ■ 「砂の道のむこう」応募シナリオ案

原作は、400 字詰め原稿用紙 70 枚の中編小説、平成 20 年という節目の年に、同じ節目の年となった昭和 20 年を書いた(応募案のまま、名前などが映画と異なる)。

### ●登場人物

柳瀬良行 指宿海軍航空基地・中尉 (24)

新田靖恵 指宿高等女学校音楽教師 (21)

柳瀬靖恵 旧姓新田(しんでん)靖恵 (83)

内田恭一 環境省・指宿自然保護官 (36)

日高優子 同・指宿自然保護官補佐 (24)  
 中島 稔 国立公園ボランティア (82)  
 指宿高等女学校生徒二人  
 小・中・高校生達 指宿田良浜エコクラブ員  
 その他砂州をわたる観光客など多数

### ●あらすじ

(現代・田良浜)

老後の柳瀬靖恵は、かつて海軍航空隊基地があった田良岬で過ごすのが日課である。沖には知林ヶ島が浮かび、干潮の時にできる砂の道を渡る人々を見るのが楽しみである。しばらく入院していたので、この日は久しぶりに浜に来ている。今日も砂の道をたくさんの人が楽しそうに渡って行く。靖恵が大好きな、豊かで平和な指宿の光景である。

子供達の賑やかな声が出て、近くの田良浜エコクラブの子供達と指導の環境省のレンジャーや国立公園ボランティアの団体が近づいて来る。久しぶりに会った靖恵の姿に、皆が優しく声を掛け、靖恵も楽しく答える。子供達は、知林ヶ島での貝の観察会と清掃活動に行くと言う。靖恵が激励すると、お土産の約束をして歩いて行く。

遅れてボランティアで靖恵の同級生の中島が走って来る。もつれて転びそうになる中島を靖恵がからかう。靖恵は皆を見送ると、ついうとうとした。

(昭和20年・指宿高等女学校正門前から)

昭和20年初夏、女学校の美しく優しい音楽教師であった靖恵は、生徒達の憧れであった。今日も靖恵の帰りを待った2人の生徒から、結婚の噂は本当かと聞かれていた。3人が正門を出た時、海軍中尉柳瀬良行が声を掛けてきた。靖恵の婚約者と気付いた女学生達は、嬉しそうに、しかし大騒ぎしながら走って逃げていった。

良行は広島県呉基地の訓練に行く事を告げ、結婚を延期したいと言った。2人は人目を避け、田良浜の松林を歩いた。砂の道に見える浜で靖恵は良行を叱責した。

厳しい戦局の中戦うのは男達だけではない事、女達も覚悟を持って生きている事、そして何より

も大切な人のために生きたい事、時間は無くても後悔しない事を訴えた。良行が呉に行く前日、2人の結婚式が質素に、しかし心をこめて執り行われた。

良行は話さなかったが、呉の訓練は、指宿基地の水上偵察機を使つての特攻訓練であった。戦局は終に、海に浮かぶフロートをつけた速度の遅い水上偵察機による特攻作戦まで必要とした。呉から帰り、短い期間の暮らしを終えると良行は出撃した。出撃前夜、良行は靖恵に、また砂の道で会おうと言った。

指宿海軍航空隊水偵神風特別攻撃隊柳瀬中尉以下4機は、昭和20年7月3日夜明け前、沖縄周辺海域において敵駆逐艦に遭遇、激烈な対空砲火の中を突入、消息を絶った。

(現代・田良浜)

エコクラブの子ども達が知林ヶ島から砂の道を渡って帰って来る。高校生達は両手にごみ袋を下げている。しかし、それは中身があまり入っていない。小さい子供達は、靖恵にお土産の貝殻とイカの骨を渡す。みんながいつも大切にしてくれるからごみも少ないと靖恵が喜ぶと、子ども達が知林ヶ島と周りに広がる国立公園の自然を大切にすると約束する。中島が身体を大事にとねぎらうと、靖恵はあなたもねと笑って答える。

(夕暮れが迫り、指宿の街に灯がともる)

靖恵がそろそろ帰ろうと立ち上がった時、消えていくはずの砂の道を誰かが歩いて来ることに気付く。靖恵が驚きの声を上げる。

良行が、あの日のままの姿で、砂の道を靖恵の方へ歩いて来る。気がつくと、いつの間にか靖恵も若い時の姿に返っている。

決して忘れる事のなかった、愛しい人のりりしい敬礼が目前にあった。

「靖恵、待たせたね」

「良行さん、あなたは どうして」

「君との大事な約束だからね。会いに来たよ。そうだ、ひとつ聞いていいだろうか」

「ええ、何をですか」

指宿ムービープロジェクト オリジナル映画 第3弾



幼なじみの二人が恋をし、結ばれた。  
時代は戦争、哀しい運命が二人を引き裂く。  
知林ヶ島の砂の道で再会を誓う二人だったが...

# 砂の道の向こう

2009  
**12.20日**  
AM10:00~

**指宿市  
時遊館COCCOはしむれ  
講堂にて上映!**

〒891-0403 鹿児島県指宿市十二町2290  
TEL:0993-23-5100

無料

この映画のストーリーはフィクションです。

2010年1月1日から(指宿市役所)いぶすき菜の花マラソンホームページのリンク、You tube 等インターネット上で放映予定です。  
指宿ムービープロジェクトホームページ、ブログは「指宿ムービープロジェクト」で検索できます。






配役 / 林綾乃 下川仁 福永千春 白間候生 柿村絵里菜 川崎幸伸 新川清人 田中かおり 堀口結央 宮牧愛那 中禮茜 西村未来 横佐晴菜  
宮田絵里華 堀紗子 宗岡克英 中村美優 結佐弘美 和田由紀子 豊留まみ 西川路瑠華 西川路麗華 米澤真弥 平原由希子  
野間美里 上片平貞子 森敬幸 江川美代子 大牟礼俊作 片野田茂久 西俣 葉々美 ドラトウィニスキー 茉莉花 山下マリン  
渡辺鮮夏 寺田未来 向吉真美 藤久保玲子 田原良子 富田美智子 宮ヶ浜緑の少年団 指宿市民のみなさん

原作 / 柳田一郎「砂の道の向こう」 脚本・監督 / 上野智恵  
音声 / 中村睦夫 撮影 / 樋園隆洋 神園浩司 下川路慶和 撮影助手 / 富永ノリ子 迫村 美雪 平原 直 岩本範茂  
制作総指揮 / 下川路慶和 事務局 / 広森和仁 監修 / 野村一明(元日本海軍中尉)  
特技監督 / 大川内 伸郎(鹿児島特撮映像研究団体) 造形 / 岩崎裕行(鹿児島特撮映像研究団体) 福吉大一郎(株式会社映像機作)  
特殊撮影協力 / 大川内健人 大川内将人 赤崎ゆかり 赤崎俊喜 火薬 / (有)六重煙火  
オリジナル歌唱 / 箭園真実 中原佳代 重信雅代 挿入歌 / 滝廣太郎作曲「花」

撮影協力 / 指宿市役所 指宿市観光協会 指宿市立北指宿中学校 指宿消防署 指宿海上ホテル 指宿白水館 コスモス幼稚園 木星美容室 校間神社 魚見校区公民館  
中央公民館 指宿市民会館 田中久夫宅 アクターズファクトリー鹿児島 サンミュージックアカデミー鹿児島校 鹿児島高校演劇部 子ども芸術劇場 九十金物百貨店 旧黒木医院 松元照志宅  
後援 / NHK鹿児島放送局 MBC南日本放送 KTS鹿児島テレビ KKB鹿児島放送 KYT鹿児島読売テレビ 南日本新聞社 朝日新聞西部本社 読売新聞社 毎日新聞社

【お問い合わせ】事務局 / 〒891-0405 鹿児島県指宿市湊2丁目5番33号 指宿市観光協会内 指宿ムービープロジェクト実行委員会事務局  
TEL / 0993-22-3252 担当 / 佐藤・下川路(090-2589-4749) 【メールアドレス】drums@no.synapse.ne.jp

「私は君達を守れたのだろうか」  
「良行さん、あなた達は立派でした。見て、指宿の町はこんなにも明るくて、美しくて、平和よ。子供達も大人達もみんな元気よ。みんなあなた達を忘れないわ」  
「それを聞いて安心したよ。良い国になったん

だね。さあ行こう。砂の道のむこうで、みんなが待っているよ」  
柳瀬靖恵は、大好きな浜辺で83年の生涯を終えた。遠くで鈴の音が聞こえていた(完)。



2010年2月28日発行の原作小説

## ■ 最後に

### (1) 原作小説「砂の道の向こう」発刊

鹿児島市での上映会の2月28日、原作小説を発刊した。これからのミニ上映会の会場で、直接手から手へと、お届けするつもりである。

### (2) 映画への期待

55歳の私の書いた「重い」原作が、24歳の女性監督の手によって、「可愛く若々しい」映画に変身した。嬉しいことである。

知林ヶ島の砂州を観光に来る人が増え、21年4月には、環境省の工事により島内の一周遊歩道が完成した。人々に島の自然に親んでもらうとともに、自然に触れるマナーもお知らせしなければならない。

映画「砂の道の向こう」が、そのお役にたてるなら、さらに嬉しいことである。

なお、今後各地で上映会を計画したい。映画を見たいというご要望があったら、是非ご連絡いただきたい。メッセージをお伝えするため、喜んで駆け回りたい。

(参考) 映像、ブログなどは、指宿ムービープロジェクト・ホームページ <http://www.synapse.ne.jp/drums/>